



THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HIGASHI

CHARTERED 1988

2018-2019 年度
6月号
NO. 357

〒136-0016 江東区東陽 2-2-20 東京 YMCA 東陽町コミュニティセンター内 TEL03-3615-5565

強調月間

評価

国際会長：Moon Sang Bong (韓国) 主題「私たちは変えられる」
アジア太平洋地域会長：田中博之(東京多摩みなみ) 主題:「アクション!!」
東日本区理事：宮内友弥(東京武蔵野多摩) 主題:「為せば、成る。」
関東東部部長：衣笠輝夫(埼玉) 主題:「良いものを見つけ・つなげて、よくなるう」
東京ひがしクラブ会長：金丸満雄 主題:「楽しもう ワイズ!!」

6月例会(納会)

とき 2019年6月15日(土)
ところ 門前仲町「酔月」18時～
江東区富岡 1-5-1
☎03-5620-1123

受付 鮎澤正和

★プログラム

開会挨拶 会長 金丸満雄
ゲスト紹介
乾杯
食事・懇談
今月の誕生日・結婚記念日
今期を振り返って(それぞれの一年)
各種報告/スマイル
閉会挨拶 次期会長 飯田歳樹



★今月の誕生日

高野真治メン(26日)



楽しんだ二年!!

会長 金丸満雄

「楽しもう ワイズ!」を主題に活動してきた二年を終わろうとしています。今期も盛り沢山のプログラムは、新しいアイデアを加えひがしパワー(衰えの兆しあり)で乗り越えました。9月例会は、衣笠部長公式訪問。全5事業主査同行で関東東部アワーの例会でした。10月は、ひがしクラブ30歳(30周年)を祝う例会。本来ならば盛大に多くのゲストとともに祝う事ですが、ひがしOBを招き、アットホーム的な集いとする記念例会を選択しました。呼びかけに元チャーターメンバーを含め、懐かしいOB&OGの皆様と縁のあるゲスト合わせ15名が出席。思い出のスライドショーに、賑やかなひがし時代を思い浮かべるとともに、大事な人を亡くした悲しみも込み上げてきました。その様な想いの中、今期も11月に悲しい出来事があり、ひがしのご意見番である奥峪メンが天に召されました。昨年7月に逝去された鈴木健次さんを惜しみ、故人お二人のご冥福をお祈り致します。

恒例の、東陽町夏まつり・チャリラン・江東区民まつり・江東Yバザー・東陽町オープンハウス・陽春の集い等々のプログラムも模擬店三昧で汗を流しました。クラブCS・YMCA サービス事業は、主催するピースウォークが25回記念となり、ピースコンサートを開催。アイリッシュハーブと馬頭琴が奏でる演奏に感動しました。そして、毎月支援の「下町こどもダイニング」も一年を過ぎました。東陽町コミュニティセンターをサポートするクラブとして、パワー全開で取組んだ二年でありました。

ひがしメンバーの踏ん張り笑顔に助けられて楽しんだ二年。こころを結んで私を支えてくれたひがしの皆様に、深く深く感謝いたします。ありがとうございました。

次期は、温かくまろやかな飯田次期会長に引継ぎます。よろしくお願ひ致します。

🕊 今月の聖句 🕊

『私は彼らに永遠の命を与える。彼らはいつまでも滅びることなく、また、彼らを私の手から奪い取る者はない。』

—ヨハネによる福音書 10章 28節—

5月例会(館外)

出席者 11名 ゲスト 5名
会員出席数 6名
在籍数 11名
(広義会員1名)

ひがし会員出席率 60%

スマイル

4月 9,000円
※こどもダイニング支援とする

累計 57,500円

2018-2019 年度役員

会長 金丸満雄
副会長 飯田歳樹
書記 須田哲史
会計 鮎澤正和
担当主事 沖 利柯

5月館外例会 安曇野へ

沖 利柯

5月11日(土)～12日(日)、館外例会として信州安曇野をメンバー、OB、OG含め11名で訪れました。今回の目的の一つには、「下町こどもダイニング」に毎回有機栽培のお野菜をご寄付いただいている株式会社相互の運営する「八寿恵荘」を訪れることができました。晴天の下金丸会長を筆頭に、飯田、竹内、須田、千代、沖メン、OB、OGの今井、森村、桜井、小山、関メネットも加わった賑やかなメンバーとなりました。特に森村さんは東京からバイクでツーリング参加。若い!10名のメンバーは、あずさ号で清々しい空気の松本に降り立ち、レンタカーに分乗し穂高を目指しました。美味しいお蕎麦で昼食をと目指した穂高でしたが、急遽「小さな店のわさび漬けが美味しい!」という飯田副会長の言葉でわさび屋さんを探しながら右往左往。Uターンを繰り返しながらもやっと穂高の駅に辿りつき、お目あてのわさび漬けと美味しいお蕎麦にありつくことが出来ました。さあ、一安心と思いきや「財布がない!」事件が勃発。ある方の財布がない!きっと大金が入っているに違いない!これは大変と、思い当たるところに電話をかけ探したところ、なんと松本駅に拾得物として届けられていました。終点でよかったですね。ひとまず安心して先を急ぐこととしました。今夜のお酒は名産の「大雪渓」と決め込み酒蔵に立ち寄り、1日目なのに皆重い荷物をもった旅となりました。そんなこんなで到着した池田町にある「八寿恵荘」は想像通り素敵な場所でした。相互の北條社長や及川さんもわざわざ東京から足をお運びいただき、私たちを迎えてくださいました。カモミール工場や大かえで、そして畑を見学させて頂きましたが、皆が一番見入っていたのは畑を猿よけのために囲っている電流の流れる柵でした。「どうなっているんだこれ?」「誰か触ってみろ」と興味津々。流石ですね、と北條さんも失笑されていました。

宿は日本初のピオホテル(滞在するゲストの健康や自然環境に配慮した安全・安心で安らぎのある空間。そしてオーガニックの食事や飲み物、コスメ、タオル、石鹸、リネン、建材や内装材も自然素材を利用したホテル)。素足にヒノキの床材が心地よく、お風呂もカモミールたっぷり、食事も健康に気を配った内容で、身も心も癒されました。そんなピオホテルに滞在しながらも、屋外で悪魔の煙を出していた方もいたとかいないとか。

そして、夜は満天の星空、朝は南アルプスの山並みを眺めることができました。そんな素敵な宿を後にして、向かったのは「いわさきちひろ美術館」トットちゃんの電車やちひろさんの絵画で、またまた素敵な世界に・・・と思いましたが、みんなのもう一つのお目当てはソフトクリーム。牛乳たっぷりのソフトクリームを全員でほおばりご満悦。その後大王わさび農園に向かいましたが、ここでもお目当てはわさびコロック。もう満腹と思いつつもまたまたお蕎麦をいただき、松本駅へと向かいました。

駅では紛失したお財布との再会を喜び、電車の中では残ったお酒で更に小宴会をしていたメンバーもいたようです。

1泊2日の短い時間でしたが、本当に楽しく学びも多く、更には癒される例会でした。そして、こどもダイニングの野菜の貴重さも良くわかり、今後の活動に更に拍車がかかるものとなりました。

暖かくお迎えいただいた相互の北條社長、及川さん、そしてスタッフの皆様にご心から感謝いたします。もっともっと書き足りないことが沢山ありますが、それはまたお目にかかったときに。

※沖さん、5月例会担当ご苦労様でした。(会長より)



安曇野の爽やかな朝を迎えて!!



YMCAコーナー

担当主事 沖 利柯

▼いじめに向き合うための勉強会

東陽町コミュニティーセンターでは、いじめ反対のメッセージを社会にどう発信していけるかを学びあうために勉強会を開催しました。第1回は5月31日に開催し、会員・スタッフ17名が参加。第2回ではYMCAとしてできる具体策を考えていく予定です。開催は9月11日(水)17:30から19:30。東陽町コミュニティーセンターで開催予定。ご興味のある方はどなたでも大歓迎。積極的にご参加ください。

▼第17回会員大会

5月25日に山手センターにて会員大会を開催し、会員、職員、ボランティアリーダーなどが集い、2018年度の活動報告、会員部運営委員推挙等が行われました。また、仲田達男氏と徳久俊彦氏が名誉会員に推挙され、「ボランティアオブザイヤー」として「libyチャリティーコンサート実行委員会」が表彰を受ける他、ユースボランティアリーダーや卒業リーダーが表彰や委嘱を受けました。

▼第22回会員芸術祭予告

6月22日(土) オープニング

6月24日～29日(会期)

場所 東陽町センターYMCAホール

▼ワールドチャレンジ2019

1844年6月にYMCAが誕生して今年には175周年です。それを記念して世界120の国と地域にあるYMCAで同じ取り組みをして、世界のYMCAがひとつになることを目的としています。今年の共通テーマは「ボランティアイズム」

6月8日～14日まで175分ボランティアに挑戦します。ワイス活動やYMCA活動を通じたボランティアを行い、175分を誰かの為に使おうという運動です。東陽町コミュニティーセンターでは毎月行っている地域清掃活動「クリーンウォーク」を拡大実施いたします。6月14日(金)12:45から30分でもあなたの時間をボランティアに!

